

大台ヶ原ビジターセンターに寄せられる利用者の「声」などからみる 大台ヶ原の利用に当たっての現状と課題

大台ヶ原ビジターセンター

1. アクセス道路・駐車場について

(1) 大台ヶ原ドライブウェイの雨量規制

(現状)

大台ヶ原ドライブウェイでは、国道 169 号沿いに設置する雨量計で時間雨量 25mm 超又は連続雨量 110mm 超を観測した場合、奈良県吉野土木事務所が雨量規制を発令し、ドライブウェイを通行止めとする。ドライブウェイの通行止めは、国道 169 号線からの入口に簡易バリケードと通行止め標識が設置される。なお、雨量規制の発令から大台ヶ原ビジターセンター等の関係機関への周知、現場での通行止めの実施等には時間差がある。また、雨量規制は原則として 4 時間連続で発令され、解除は安全確認後となるため時間を要する。

ビジターセンター職員は、雨量規制時は出勤を控える又は退勤時間を早める対応を行うことから、その時間及び解除後の通勤時間中はビジターセンターは職員不在の状態となる。

(課題)

- ① 雨量規制は国道 169 号線沿いの雨量計で判断されるため、山上と山麓の天候が一致しないように見える大台ヶ原においては、規制の必要性を利用者に理解していただけない場合がある。
- ② 雨量規制の解除に時間を要するため、天候が回復しているにもかかわらずドライブウェイの通行止めやビジターセンター職員不在について利用者から苦情が生じる。
- ③ 雨量規制のためビジターセンター職員が不在の際、山上に宿泊した利用者がレクチャーを受けられず西大台利用調整地区に入山できない場合がある。
- ④ 上記を含め、大台ヶ原ビジターセンターでは、利用者から雨量規制に関する様々な意見や苦情が寄せられるため、職員が対応に苦慮する場合がある。

(2) 駐車場について

駐車場が満車の場合、ドライブウェイに路肩駐車が生じるが、通行の妨げとなる場合がある。

2. 登山道について

(東大台)

- ① 周囲に溶け込み過ぎている標識等があるため、上道と中道、上道と苔道、大蛇岨の各分岐地点がわかりづらく、道に迷う利用者がいる。
- ② 標柱に地図上にある番号を示してほしいとの意見がある。

(西大台)

- ① 歩道がわかりづらいため道に迷ったことや、歩道が複線化しているためどこを通れば良いのか迷ったという意見がある。
- ② 道標が少ないため、何処にいるのかわからず不安になるという意見がある。
- ③ 最初の分岐地点にある看板を見落とし、予定と反対回りのコースで回っているのに気が付かず、登山道から外れていると思い、途中で引き返した認定者もいる。
- ④ 既存の案内板があり、必要なところに道標が無かったりするので、整理する必要がある。

3. 利用者のマナーについて

- ① 歩道外に出て倒木をベンチ代わりに休憩や食事をしたり、歩道外の植物の写真撮影をする利用者がいる。(大蛇ヶ原分岐～大蛇ヶ原)
- ② 苔、おたまじゃくし、昆虫、落ち葉等を持ち帰ろうとする利用者も少なくない。
- ③ 犬を連れてくる利用者が多々おり、また、リードを付けずに入山する利用者もいる。

4. その他

- ① 大台ヶ原ドライブウェイについて、伯母峰トンネルから大台ヶ原駐車場までは道幅も狭く利用者に不安感を与えることから、キロポスト表示等により大台ヶ原までの距離を表示するなどのアナウンスが必要ではないか。
- ② ドライブウェイのカーブミラーが見づらくなっている箇所や必要ない箇所に設置されている場合があることから、見直しが必要ではないか。
- ③ 迂回路は標識等が少なく利用者が気付かない場合があるので、標識等の整備が必要ではないか。